
コミュニケーション科学2016

総合情報学専攻

兼子正勝

問題提起

- DeNA等が運営するキュレーションサイトについて、その信頼性や著作権管理のあり方について議論が炎上し、サイトが閉鎖に追い込まれた
- 発端は医療情報サイトWelqが、がん等のキーワード検索で上位に来るにもかかわらず、その内容が責任あるものといえないという指摘
- その後、サイト側からライターに対する執筆依頼、マニュアル等が明らかになり、問題が広く共有された

参考URL

- 発端：朽木誠一郎さん 2016/09/10

<http://bylines.news.yahoo.co.jp/kuchikiseiichiro/20160910-00062062/>

- まとまった意見例： 2016/12/09

<http://bylines.news.yahoo.co.jp/yoppy/20161209-00065195/>

- 著作権法の観点から

<http://storialaw.jp/blog/2503>

キュレーションとは

インターネット上の情報を収集しまとめること。または収集した情報を分類し、つなぎ合わせて新しい価値を持たせて共有することを言う[...]

キュレーターの語源は、博物館や図書館などの管理者や館長を意味する「Curator(キュレーター)」からきている。キュレーターが館内の展示物を整理して見やすくするのと同様に、インターネット上のあらゆる情報を、キュレーター独自の価値判断で整理するのがキュレーションであり、キュレーションされたものは、プログラムなどで自動的に収集する従来の検索サービスの検索結果と比べて、「不要なものが少ない」「センスが良い」などといった理由から人気が高まっている。

Twitterのつぶやきをまとめる「Togetter」や、検索サービス「NAVER」が開始した「NAVERまとめ」などがある。

知恵蔵2015<コトバンクより

<https://kotobank.jp/word/%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3-189130>

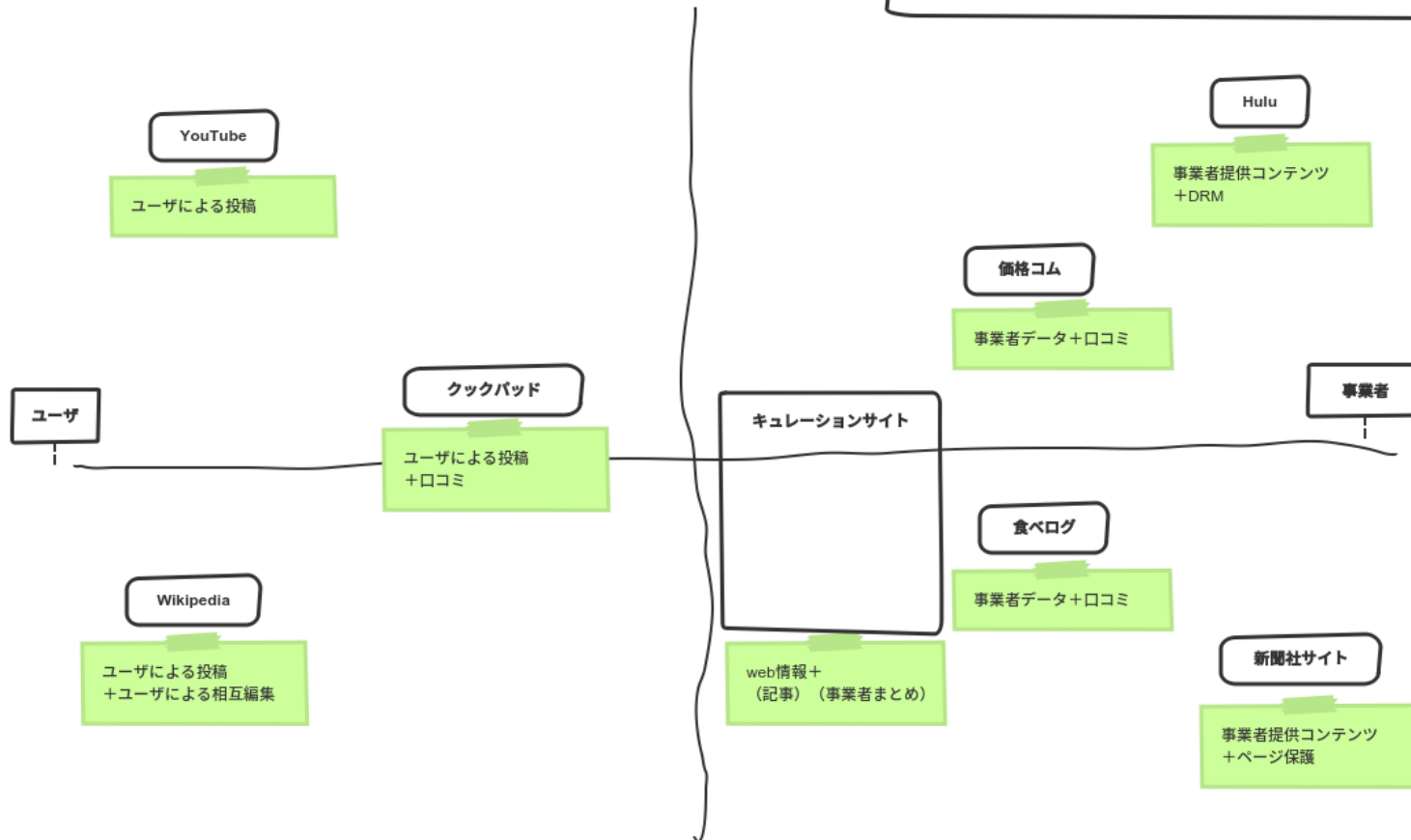
コンテンツの生成と管理

	UGC	中間形態	PGC
コンテンツ生産者	ユーザ		事業者
コンテンツ管理法	管理なし ユーザー相互		事業者 DRM
コンテンツ生成支援	心理的報酬 (金銭的報酬) システムによる生成促進、支援	半ば自然生成、半ば発注？	なし
例	YouTube Wikipedia	まとめサイト クックパッド？ 価格コム？	Gyao

- UGC --- user-generated content ユーザ生成型コンテンツ
- PGC --- Professionally generated content 事業者提供型コンテンツ
- DRM --- Digital rights management デジタル著作権管理(技術)

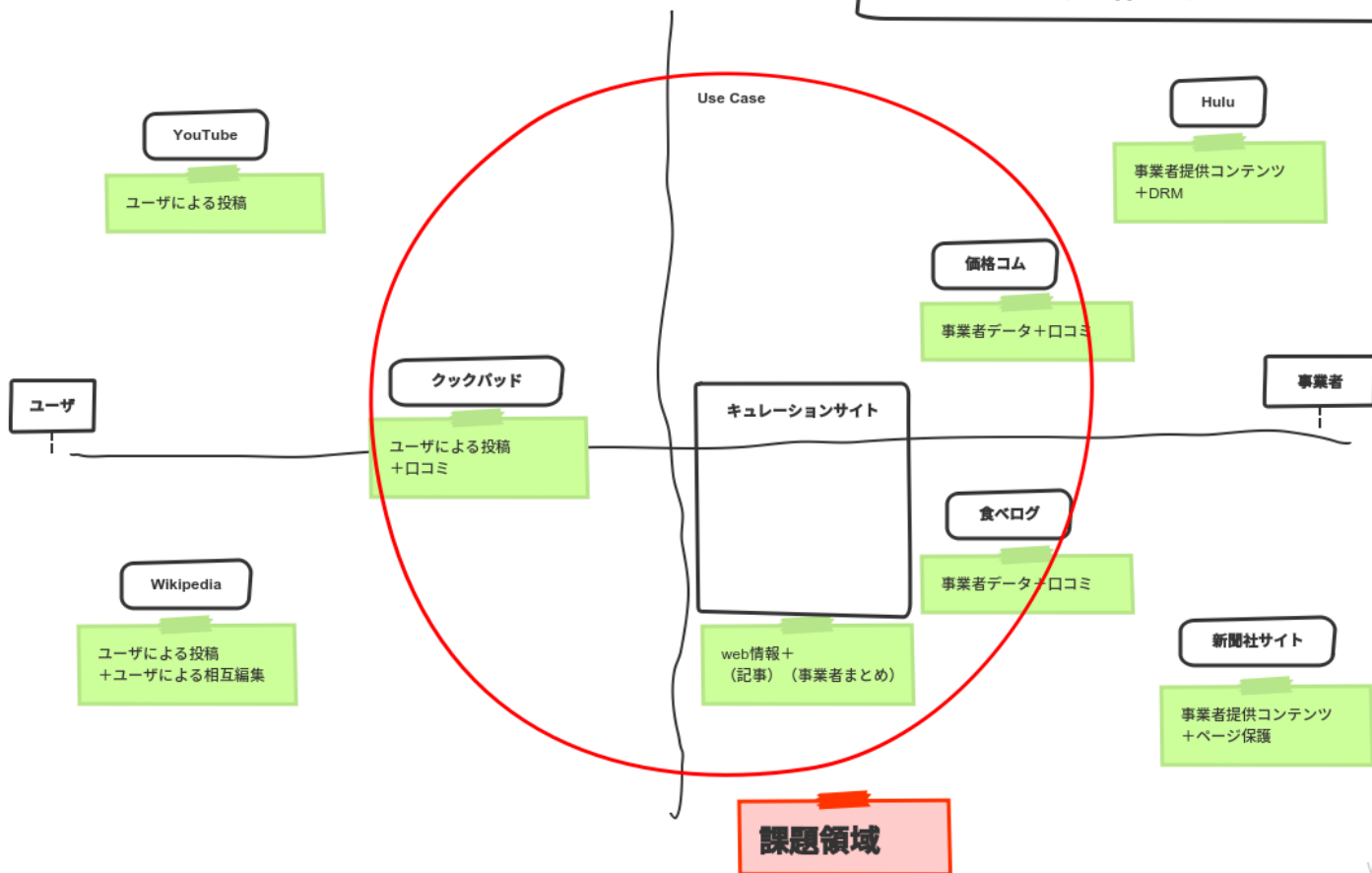
マッピング

コンテンツの生成・管理からみたwebサービスマッピング



課題領域

コンテンツの生成・管理からみたwebサービスマッピング



PBL課題

- Welqなどキュレーションサービスの問題を理解したうえで、「コンテンツの生成と管理」の仕組み(サービス)を構想・提案する
- 次ページのレイヤ区分を参考にして、少なくとも一つ以上のレイヤにおいて新規性を持ったものを考えること

サービスのレイヤ

サービス名		Youtubeなど
ジャンル		動画、価格、レストランガイドなど
システム		動画配信、CGI、DBなど
コンテンツ生成支援	生成の容易さ	投稿支援、SNS連携など
	修正の容易さ	Wikiなど
報酬		honor, real payment
利潤		利用料、広告など
管理		DRM、User登録、携帯認証

手順と日程

- 第1回 1月6日 ー 課題設定とチーム分け
- 第2回 1月13日 ー 自習：課題の理解
- 第3回 1月20日 ー 現状調査報告とチームディスカッション
- 第4回 1月27日 ー チーム案決定と発表分担計画
- 第5回 2月3日 ー 発表とディスカッション

第1回

- 今日

第2回

- 課題の理解

- 第1回講義で説明された問題について、提示された参考記事3つを熟読すること
- これに加えて、自分でさらに2つ以上、同様の参考記事(論文)を見つけ、理解を深めること
- 読んだ記事(論文)の書誌情報(文献名, URLなど)を兼子にメールで送ること
- 締切: 1月13日

第3回

- **現状把握**

課題領域に含まれるwebサービスを一つ選び、スライド9ページ「サービスのレイヤ」にならって、各レイヤにおけるそのサービスの特徴、長所、独自性、問題点等をパワーポイント1枚にまとめ、発表する

12人 * (発表2分 + コメント2分) = 50分

- **チームディスカッション**

チームごとに構成員のレイヤ表をつきあわせ、自分たちの提案の着目点を探す(システム、報酬、ジャンルなど) 30分

>> 着目点を元に、次回まで、各種事例をさらに調査する

第4回

チームごとに、レイヤ表を参考にしながらディスカッション

- 分担者からの報告
- チーム案決定
- 発表するポイント(レイヤ表の項目)と担当者

案の作成にあたっては、ポイントとなる項目ごとに、従来サービスとの違い、長所、短所を明確にすること

第5回

- チームごとの発表と全体ディスカッション
3チーム * (発表5分 + 質疑応答10分) = 45分
- 兼子講評
- レポート課題指示

レポート課題

- 以下の内容でレポートを提出すること
 - i. 表紙： 学籍番号, 名前, チーム
 - ii. チームの取り組み： チームが作った発表資料
 - iii. 個人の取り組み： チーム発表資料のうち, 自分の担当項目について, 何を調べ, 何を提案したか, 詳しく述べる
 - iv. 考察： チーム案について, 個人の立場から, 有用性, 新規性を考察する
 - v. PBLについて： チームのPBLへの取り組みと, 自分の貢献について考察する